

# 大腸内視鏡専用検査食 (クリアスルーJB 3食セット：間食付き) の使用経験について

静岡県立静岡がんセンター  
内視鏡科 副医長  
今井 健一郎 先生



## 背景と目的

精度の高い大腸内視鏡検査を行うためには質の高い前処置が必要である。これには前日の食事制限も含まれている。病院では検査の前に消化の良い食事を摂るように指導するが、検査の支障にならない適切な食事制限が実践されたか否かは患者に依存し、そのコンプライアンスに関する情報も少ない。時に不適切な食事制限が原因で腸管洗浄が不十分となる症例を経験する。その場合、検査の精度を向上させるために下剤を追加する必要が生じ、患者にとっても大きな負担感となってしまう。

今回、普通の食事メニューに近いが低残渣に設計され、間食にも配慮された大腸内視鏡検査食「クリアスルーJB 3食セット」を検査前日の食事として前処置の中で利用し、腸管内洗浄度の評価、患者認容性および、食事制限に対する患者の嗜好について検討した。

## 対象

2013年4月から7月までに当院で大腸内視鏡検査(以下CS)を受け、有用性検討に同意が得られた患者30名を対象とした。重度の便秘、糖尿病・炎症性腸疾患、腹部手術歴(虫垂炎以外)の既往例は除外した。

## 方法

同意が得られた全患者に大腸内視鏡専用検査食(クリアスルーJB 3食セット)を検査前日に食事として摂取させた。

クリアスルーJB 3食セットは、朝食、昼食、夕食がセットになった検査食で、間食としての「おろしりんご」が付いており、これだけで前日の食事を満たすことができる(図1)。また、前処置としての投薬は、検査前日にピコスルファート10mL 1本、検査当日にマグコロール® P 1.8Lとした。

評価項目として、腸管内洗浄度(残渣の評価)を盲腸・上行結腸、横行結腸、下行結腸、S状結腸、直腸の5部位に分けて5段階で評価した(評価方法の詳細は表1)。また、患者に対して検査食についてのアンケートを行い、認容性、患者嗜好性について評価した。

図1 検査食のメニュー内容



朝食	昼食	間食	夕食
 鶏とたまごの雑炊	 たまごがゆ	 おろしりんご	 ビーフシチュー
	 じゃがいもそぼろあんかけ		 クラッカー

表1 大腸内視鏡検査時の残渣の評価方法

■ 検査医が、「盲腸・上行結腸」「横行結腸」「下行結腸」「S状結腸」「直腸」の5カ所の部位を以下の判定基準で5段階で評価

■【判定基準】

(5点)	残渣なく観察良好
(4点)	わずかに残渣あるも、観察・処置に支障なし
(3点)	残渣あり、観察・処置に支障あり
(2点)	残渣多く観察・処置不可能
(1点)	判定不能

## 結果

患者背景は男性21名、女性9名で年齢は40～70歳代（年齢分布は図2）であった。腸管内洗浄度の部位ごとの評価結果を表2に示した。盲腸・上行結腸、横行結腸、下行結腸、S状結腸、直腸とも平均4点以上であり、観察には支障がないという評価結果であった（表2）。ただし、盲腸・上行結腸については4点～5点評価が全体の80.0%を占めていたが、他部位では4～5点評価が全体の90%以上を占めており、高評価点の分布割合にわずかに差が見られた。しかし、残渣が残っていた患者でも十分に観察ができるレベルであった。

認容性についてのアンケート結果では、検査食の味については、23人（76.7%）が「美味しい」と回答した。検査食の満足感については、15名（50%）が「ちょうどよかった」と回答し、残り15名（50%）が「物足りなかった」と回答を二分した（図3）。一方、「次回も検査食を利用したいか」という問いについては、26名が回答し、うち24名（回答者の92.3%）が次回も検査食利用を望み、このうち22名が3食セットを、2名は2食セット（昼食・夕食）を要望し、検査食の認容性は非常に高かった（図4）。間食として付加されていた「おろしりんご」については、昼食と夕食の間食として利用されるだけでなく、デザートして夕食時に利用されたケースも多かった（図5）。

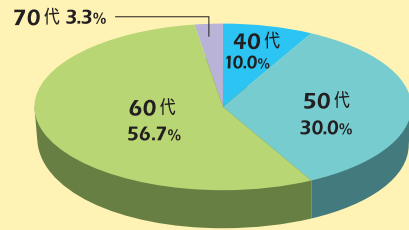
## 結論

今回、「クリアスルーJB 3食セット」を用いた前処置を経験したが、満足な洗浄効果は得られた。また、50%の患者が「（量が）物足りなかった」と回答したにもかかわらず、全対象患者の80%が次回も検査食を希望していたことから、今回の対象患者においては検査の精度向上のために食事制限を容認する意欲があると感じた。多少物足りなさはあっても自分で食事を準備するよりは、手軽に確実な準備ができる検査食を選択したものと推察される。

クリアスルーJB 3食セットは食事としての味評価も高く、前処置後の腸管内洗浄評価結果も良かったことから、大腸内視鏡検査前日の検査食として価値のあるものだと考えられた。

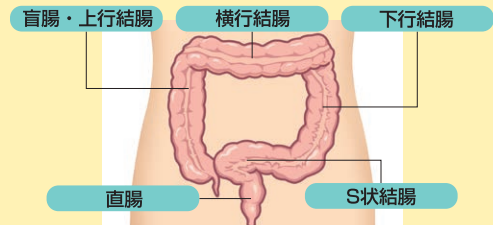
検査食としての機能はそのままに、食事としてのボリューム感を付加することが今後の課題と言えよう。

図2 患者の年齢分布（N=30）



N=30

表2 部位ごとの洗浄度評価結果（5点満点：N=30）



部位	平均点
直腸	4.80
S状結腸	4.73
下行結腸	4.73
横行結腸	4.70
盲腸・上行結腸	4.10

図3 検査食の食事としての評価

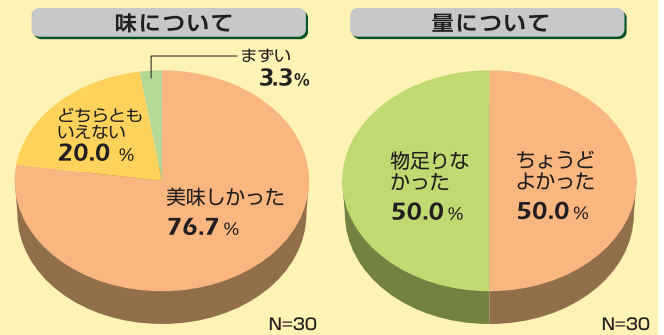
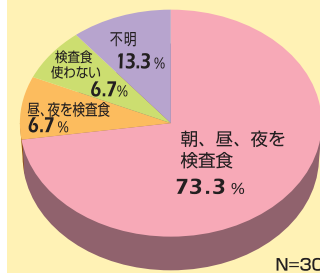
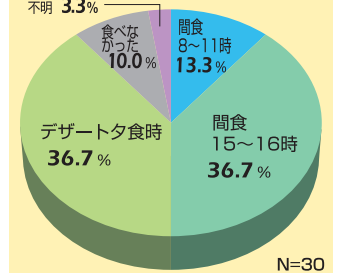


図4 検査食の次回利用希望



N=30

図5 おろしりんごの食べ方について



N=30

### ジャネフ大腸内視鏡専用検査食 クリアスルーJB 3食セット

#### ① 検査前日でも満足感のある食事

- 充実の食事内容に加え、空腹感を解消する間食のおろしりんご付き。携帯性がありどこでも食べられます。

#### ② 検査しやすいように工夫した原材料

- 消化吸収に配慮した糖質（ソルビトール）を使用。
- 残渣の少ない具材を組み合わせています。

